

学校の教育目標	素直で明るい、心の豊かな生徒に育てる 自ら進んでよく学び、よく働く生徒に育てる 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒に育てる
---------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標	
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	

学校の総合的な学習の時間の目標	
1.自ら進んで探求活動に取り組み、よりよく問題を解決する資質や能力を育む 2.自ら課題を発見し、総合的に分析し、判断してよりよく解決する能力を育む 3.発表することを通して言語により分析し、まとめ・表現する能力を育む 4.学び方やものの考え方、判断の仕方を身につけ問題解決に取り組む態度を育てる	

育てようとする資質や能力及び態度			
知識及び技能			
第1学年	第2学年	第3学年	
情報を収集し、活用して分析する	仮説を立て検証して解決する	相手に応じて、わかりやすく論理的に表現する	
思考力、判断力、表現力等			
第1学年	第2学年	第3学年	
自らの行為に責任を持つ	自らの行為に責任を持って意志決定をする	自らの将来、生活について考える	
学びに向かう力、人間性等			
第1学年	第2学年	第3学年	
他者と協同して課題を解決する	職場体験学習(チャレンジ・ザ・ドリーム)を通じて社会との関わりを知る	自らの生活を見直し、社会生活に参加する	

内 容	学習対象	学習事項
第1学年	職業調べ学習 SDGs調べ学習	身近な職業について調べる SDGsの視点に立ち、テーマを決めて調べ学習を行う
第2学年	職場体験学習 移動学校事前事後学習 上級学校調べ学習	職業について調べ、社会での役割について考える 行く場所の自然、産業、歴史など調べる 自らの将来に目を向け、進路について考える
第3学年	日本の文化調べ学習 バリアフリー体験学習 進路学習	日本文化の歴史的背景や古都の文化遺産を学ぶ ブラインド・ウォーク、車椅子体験、点字、手話などを体験する 自らの進路について考える

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
1年:資料の活用、情報、地域環境、国際理解 2年:職業体験と社会との関わり、健康について 3年:日本の文化、バリアフリーを学ぶ	・班ごとの協同的な学習活動 ・生徒に課題を発見、設定させる ・各教科と関連させる	・各学年ごとに指導方法、指導体制を立案 ・学習進路部で連絡調整 ・外部人材の活用	・ワークシート、調べ学習を活用する ・発表活動を利用する ・共同学習活動の観察